

紙風船



6年生のみなさん、卒業おめでとう！

いよいよ明日、卒業式を迎えます。校内はお祝いモードに装飾され、紅白幕が張られた体育館は、厳かな雰囲気が漂います。

<p><u>A.S さん</u></p> <p>思い切りがいい人です。やるとなったら、最後までしっかりやり遂げられます。 まずやってみる精神で、中学校生活を充実させてね。</p>	<p><u>A.M さん</u></p> <p>まさにみんなの「お姉さん」でした。その役割を受け入れつつも、甘えたい時だってあるよね。 頼る時は頼っていい。「持ちつ持たれつ」の気持ちが協力ってことだ。</p>
<p><u>A.R さん</u></p> <p>うまくいかないとか、自分の前に壁があるとか思う時。試練や壁は「乗り越えられる人」にしか現れないということを思い出して。そしていつでも、胸には「希望」を。</p>	<p><u>H.R さん</u></p> <p>「元気があれば何でもできる！」です。いつだって元気いっぱい、心と体のエネルギーをしっかりと補給することだよ。家族、友達、先生たちとコミュニケーションを充実させてね。</p>
<p><u>M.K さん</u></p> <p>5人組の総理大臣と聞いています。「おれ、やるよ」と自然に言い出せる強さと優しさがあります。中学校での経験を栄養にして、たくましく成長してね。</p>	<div style="text-align: center;"> <h3>げんき学年</h3> <p>なんでもトライ！</p> <p>全校をひっぱり、笑顔が絶えない</p> <p>5人組</p> </div>

卒業式の「門出の詞」で歌う歌を6年生が決めました。森山直太朗の「さくら」です。練習しながら、歌詞の意味がイメージできるにつれて、6年生の心境がうかがえるように思えます。

さくら

森山直太朗

ぼくらはきつと待つてる
君とまた会える日々を
さくら並木の道の上で
手を振り叫ぶよ
どんなに苦しい時も
君は笑っているから
くじけそうになりかけても
がんばれる気がしたよ
かすみゆく景色の中に
あの日のうたがきこえる

さくら さくら 今、咲き誇る
せつなに散りゆく
運命(さだめ)と知って
さらば友よ 旅立ちの刻(とき)
変わらないその想いを 今

今なら言えるだろうか
いつわりのない言葉
輝ける君の未来を願う 本当の言葉
移りゆく街はまるで
ぼくらを急かすように

さくら さくら ただ舞い落ちる
いつか生まれ変わる
瞬間(とき)を信じ
泣くな友よ 今惜別せき(べつ)の時
飾らないあの笑顔で さあ

さくら さくら いざ舞い上がれ
永遠(とわ)にさんざめく光を浴びて
さらば友よ またこの場所でおおう
さくら舞い散る道の上で